

統合医科学データベース構築方式の開発
 (複数施設間の臨床データを対象とした統合化方式の開発)
 大阪大学

1. 委託事業の9月末時点の判断基準になる目標 (以前にお出しいただいたもの)

- ・ 統合検索システムを介した神経疾患 (パーキンソン病) データベースの検索機能の開発・改良作業を完了させる.
- ・ 大阪大学の神経疾患データベースについて、9月時点で公開されている関連情報とのリンク付け、および関連機関への情報提供を完了させる.・

2. 9月末時点の達成状況

- ・ 神経疾患データベースの基本検索機能および統合検索システムを介した検索機能の開発を完了した.
- ・ データベース公開用 Web ページを更新し、関連情報とのリンク付け、DB の利用・データ提供などを希望する関連機関向けの情報公開ページを作成した.

3. 上記達成状況を踏まえたプロジェクト終了までの目標

- ・ これまでに実施した開発作業およびデータベースの運用過程から得られた知見を、統合医科学データベースのロールモデルとしてまとめる.
- ・ 関連機関を介した情報提供 (学会発表なども含む) を継続すると共に、連携を希望する機関に対する必要な情報提供を行う仕組みを構築する.

また、神経疾患 (パーキンソン病) について公開患者データ数を約 700 まで増加させる。

4. 成果の概要

- ・ 大阪大学医学部を中心に5つの関連施設からのデータを収集した「パーキンソン病臨床情報データベース」を開発し、2010/10/04 時点で約 700 のデータを公開している.
- ・ また本データベースには、東京医科歯科大が開発した統合検索エンジンを介した検索用の API も実装しており、複数疾患の横断的統合の試験的实施と課題の検討を行った.
- ・ さらに、これらの成果物は、同様の臨床データベースを構築する際に活用できるように、ソースファイルを含めた技術資料を公開する予定である.

